

防犯カメラ

取り扱いマニュアル

Version 1.1.1 m



保証期間: 12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

サポートのご案内

記載内容に不備がある場合、新しいマニュアルを公開している場合がございます。ダウンロードページをご確認ください。
<http://www.thanko.jp/support/download.html>

お問い合わせいただいた商品の調子が悪い、壊れたと思われる症状が発生した場合は、Q&Aページをご確認ください。
<http://www.thanko.jp/support/qa.html>

改善が見られない場合は、まずはメールにてお問い合わせください。

メールでのお問い合わせ

お客様のお名前、商品名、ご利用のOS (Vista, 7)、お問い合わせ内容をご記載し、下記アドレスまでご連絡下さい。
support@thanko.jp

修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応をさせていただきます。下記ページをご確認いただき、商品の送付を御願います。
<http://www.thanko.jp/support/repair.html>

サンコーカスタマーサポート

〒101-0021
 東京都千代田区外神田5-6-12 コービル3 4F
 (月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 祝日を除く)
 TEL:03-5812-1519 FAX:03-5812-1520

本製品は防水ではありません。

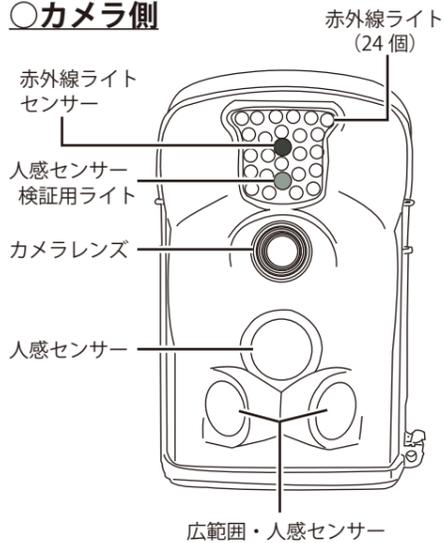
雨水が当たる場所、水中では使用できませんのでご注意ください。また、屋外で使用する際は雨が当たらない場所に設置して下さい。

仕様

センサー	5メガピクセル カラーCMOS
有効画素数	約500万画素
レンズ	F=3.1 FOV=52° オート赤外線除光フィルター付き
赤外線ライトについて	使用範囲:最大約20m 搭載個数:24個
モニター	2.4インチ、480×234ピクセル DOT16.7M画素
対応メモリー	SDカード(～32GB)
撮影データ詳細	●写真:JPEG 5Mピクセル(2560×1920) 12Mピクセル(4000×3000) ●動画 形式:AVI コーデック:MJPEG 640×480(20fps)、20×240(20fps)
写真・連続撮影枚数	1～3枚(複数枚の場合は2秒間隔に撮影)
人感センサー	使用距離:最大10m (中レベルで25℃以下の場合) 設定レベル:高/中/低 反応角度:センターレンズのみ:35° センター+サイドレンズ使用時:100°人感
撮影開始反応速度	センサーが検知してから約1秒後に撮影を開始します。
撮影インターバル	0～60分
動画撮影時間	1ファイル:1～60秒 ※自動延長しません
搭載モード	動画のみ / 静止画のみ / 動画+静止画 ※動画+静止画の場合は撮影開始時に静止画を1枚撮影します。
タイムスタンプ	表示/非表示
タイマー撮影	可能(例12:00～14) ※毎日決まった時間に撮影を行うことが可能になります。
パスワード	4桁の数字で選択。※起動時に入力します。 本体シリアルナンバー4桁の数字、26個のアルファベットから選択します。※写真撮影時に画像内に表示されます。
タイムラプス(定点)	1秒～24時間(指定時間に撮影繰り返し)
バッテリー	単三乾電池×4本、または付属のバッテリーパック使用時は8本
スタンバイ電流	0.4mA
連続スタンバイ時間	3ヶ月(単三乾電池×4本) 6ヶ月(単三乾電池×8本) ※使用環境、撮影状況により異なります。
オートパワーオフ	約2分間操作ボタンを行わないと自動的に電源がオフになります。
消費電力	撮影時:150mA 赤外線ライト使用時:～+500mA
ローバッテリーアラーム	4.2～4.3V
搭載端子	TV出力、miniUSB、SDカード 6V電源(オプションセンサーバッテリーに付属のケーブルで使用可能)
マイク	非搭載
保護等級	IP54 ※防水ではありません。
使用可能環境	-30～70℃S～95%
付属品	本体、バッテリーパック、USBケーブル、巻きつけようストラップ、日本語説明書
証書	FCC & CE & RoHS

● 本体説明

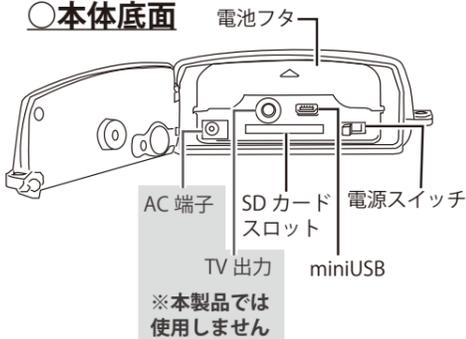
○カメラ側



○液晶側



○本体底面

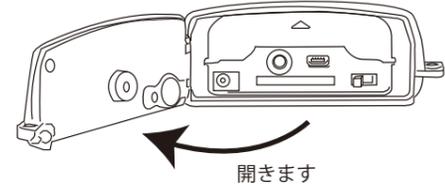


● 底面のフタを開く

①本体底面横のロックを解除する



②底面のフタを開く

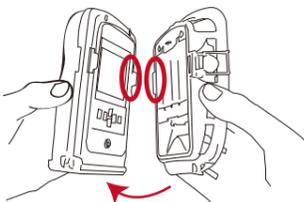


底面のフタを閉める時は「カチッ」と鳴るまで押し込んで下さい。

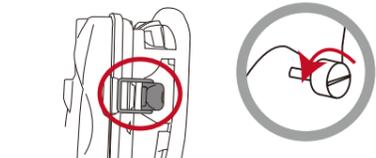
● バッテリーパックを使用する

①単三乾電池×4本をセットする

②最初に右側からツメに引っ掛けフタを閉じる

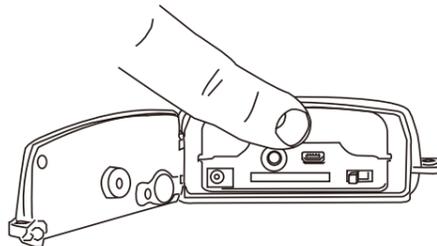


③両側のフックを閉じ、裏面のネジを閉める

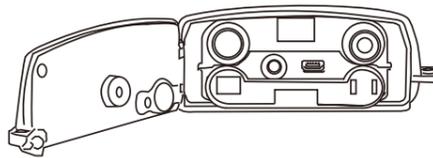


● 乾電池を装着する

①電池フタを指で押します

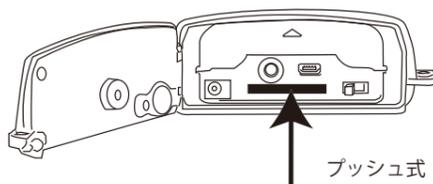


②電池フタが開くので、単三乾電池×4本を装着します



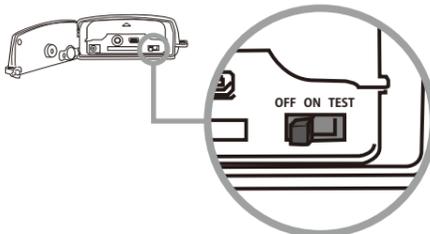
乾電池の装着方向(+,-)はフタ裏の指示にしたがって装着して下さい。

● SDカードを装着する



○カードの着脱方法
 カードを矢印の方向にカチッと音がするまで差し込んでください。再度カードを押しこむと、カードが飛び出して取り外すことが可能です。※カードの抜き差しは電源OFFの状態で行ってください。

● 撮影モードに関して



○OFF: 電源オフ

○ON: 電源オン。動画、静止画の自動撮影
 ※液晶モニターは表示されません

○TEST: 液晶モニターを見ながら視野角、センサーなどの調整、撮影の設定など

● カメラの調整を行う

○ 簡単な手順解説・設置場所の目安

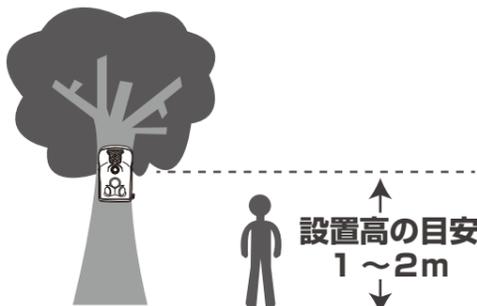
詳細な設定方法は次項目以降をご覧ください。また撮影方法は裏面へ▶

①スイッチを「TEST」に切り替える
 動画、静止画の撮影を選ぶ

②撮影方法の詳細設定を行う

③本体をテスト設置を行う

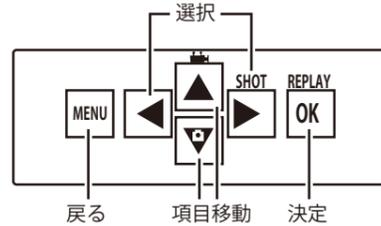
④スイッチを「ON」に切り替えて完了
 これで、防犯カメラとして使用できます。



○ 本体の設定を行う

①電源スイッチを「TEST」にします
 電源がオンになり、液晶モニターが表示されます

②「MENU」ボタンを押します
 設定メニュー画面が表示されます



③下記の設定を行うことができます

設定を変更した際は必ず「OK」ボタンを押して下さい。

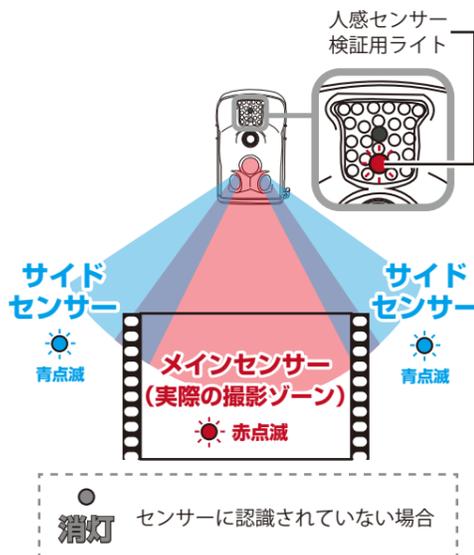
Mode	撮影モードの切替 Video(動画)、Cam+Video(動画+静止画) Camera(静止画) ※「動画+静止画」を選択した場合は1枚の静止画を撮影した後動画の撮影を開始します。
Format	SDカードを初期化します。 ※カード内のデータは全て消去されます。
Photo Size	静止画の撮影サイズの変更 5M(2560×1920) 12M(4000×3000)
Video Size	動画の撮影サイズの変更 640×480(20fps)、320×240(20fps)
Set Clock	本体の表示日時の変更
Picture No	1回の撮影で1～3枚の連続撮影を行えます。
Video Length	ビデオデータ1ファイルの生成時間を調整 1～60秒
Interval	撮影終了後に次の撮影を行うまでの間隔時間 0秒～60分 この機能をオンにすることで、撮影対象が長い時間撮影範囲内で動き続けた場合に、無駄な撮影を抑えて、電池の消耗を防止できます。
Sense Level	センサーの感度を調整 High(高)、Normal(中)、Low(低)
Time Stamp	撮影データにタイムスタンプの表示/非表示
Timer	予約して撮影を行うことが可能 Start:開始時間 Stop:停止時間 ※ONにした場合、上記の時間以外には自動的に撮影は行いません。オフにするまで毎日電源が入り、撮影を行うことが可能です。
Password Set	本体のロックをかけられます。(4桁の数字) 起動時に入力してロックを解除してください。
Serial NO	複数台のカメラを使用する際にお使い下さい。 ※シリアルNoは静止画撮影時に画像下部に表示されます。数字、ローマ字を使用可能。
Timer Lapse	指定時間の間隔で撮影を行います。 ※長時間の録画は電池の消耗が進みますので設定にご注意ください。(3～5時間ほどで電池が無くなります)
Side PIR	サイド人感センサーのオン/オフ ※次項目で詳しく説明しています。
Default Set	設定を初期状態に戻すことが可能

○ 人感センサー(PIR)について

本製品は人感センサーで動きを検知して、撮影を開始する仕組みになっています。

TESTモード時に、ライトの点滅を見ることで、人感センサーが正常に作動しているかを確認することが可能です。

①下記の様に反応場所を「人感センサー検証用ライト」が光り、お知らせします。



サイドセンサー(青点滅)感知時に撮影を開始したい場合は設定の項目「Side PIR」をオンにします。またセンサー感度を調整することも可能です。

メインセンサーのみの検知角度: 約 35度
 +サブセンサー時の角度: 約 110度

センサー検知距離: 最大約 10m

裏面に続きます

○ 赤外線ライトについて

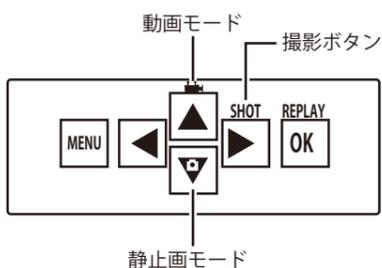
本製品のセンサーが明るさを検知し暗くなった場合に、自動的に「赤外線ライト」が点灯します

また同時にレンズの白黒フィルターが稼働し「カラー撮影」→「白黒撮影」に切り替わります。(切替時に「カチッ」という音がなります。)



照射距離は通常約5mとなります。
 ※赤外線ライトは目視では見れません。
 ※暗闇では白黒撮影のみとなります。

○ テスト撮影を行う



- ①電源スイッチを「TEST」にします。
電源がオンになり、液晶モニターが表示されます。
- ②「動画モード」または「静止画モード」ボタンを押してどちらか選択します。
- ③「SHOT」ボタンで撮影を行います。
動画の場合、もう一度ボタンを押すことで、撮影を停止します。

○ 撮影の種類・モードに関して

■Timer (タイマー撮影)

「開始-終了時刻」を指定することで毎日決まった時刻に撮影を行います。

※指定した時刻以外には動きを検知しても撮影は行われません。未使用時はOFFに切り替えて下さい。

■Interval (インターバルの設定)

インターバルをONにすることで、同じ撮影対象物(人や、動物)が長時間撮影範囲内で動き続けた場合に、無駄な撮影を減らし電池の消耗を少なく出来ます。

■Timer Lapse (定点撮影)

指定時間の間隔で定点撮影を行います。

例: 1時間に設定することで、1時間間隔で撮影を行うことが可能です。

静止画の場合: 1時間おきに撮影

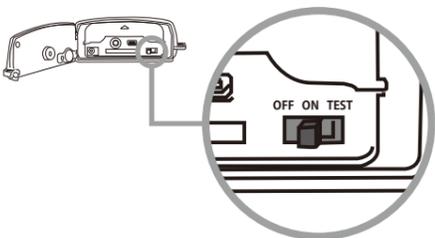
※さらに「Picture No」を指定することで連続撮影枚数を1~3枚に設定できます。

動画の場合: 1時間おきに撮影

※さらに「Video Length」の時間を変更することで1時間ごとに〇〇分撮影するといった指定ができます。

● 本番撮影を行う

①設定が完了したら、本体底面の電源スイッチを「ON」に切り替えます。



②本体の下図のライトが10秒間赤く点滅し自動的に撮影モードに切り替わります。



③人、自動車、動物などの動きを検知した場合1秒後に自動的に撮影を開始します。
本番撮影は液晶、LEDが点灯しません。また撮影したデータを確認する場合は次項目を御覧ください。

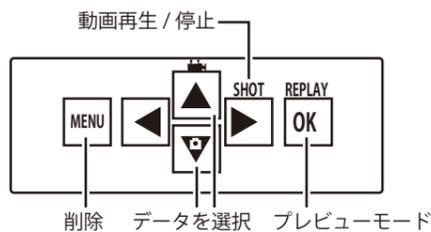
バッテリーの持続時間の目安 (アルカリ電池使用)

単三乾電池×4本の場合 → 約2~3ヶ月

単三乾電池×8本の場合 → 約4~6ヶ月 (バッテリーパックを使用時)

※撮影を行わなかった場合。
 ※使用する電池、環境により異なる場合がございます。

● 本体でデータを観覧・削除する



- ①電源スイッチを「TEST」にします。
電源がオンになり、液晶モニターが表示されます。
- ②「OK」ボタンを押してプレビューモードに切り替わり撮影したデータを観覧できます。



③以下のボタンを使用します。

「▶」ボタン:再生
 「▲▼」:撮影データを選択
 「◀」:静止画を拡大(※「▶」で戻る)

「MENU」:削除メニューを表示

○1データだけ削除

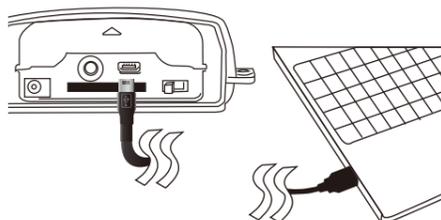
Delete Image DEL 1

○全てのデータを削除

Delete Image DEL ALL

「◀▶」ボタンで選択し「OK」で決定

● PCと接続する



本体の miniUSB 端子とパソコンの USB 端子を接続します

○WindowsXP の場合
 スタートボタン→マイコンピュータをクリックします。

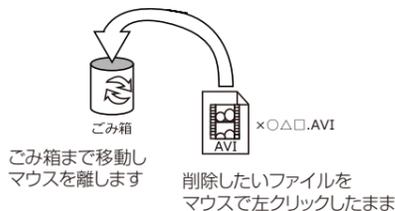
○WindowsVista/7 の場合
 スタートボタン→コンピューターをクリックします。

「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

○下記のフォルダ内に各データが保存されています。
 「DCIM」 - 「100IMAGE」

撮影したデータが表示されますので、ダブルクリックすると画像が表示されます。

● 撮影したデータをPCで削除する

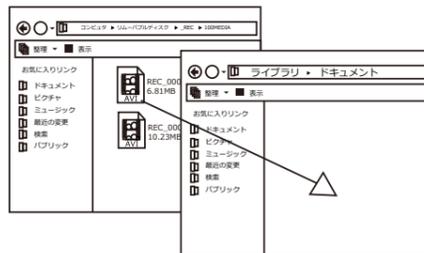


カード内のデータをゴミ箱に入れた場合は、即削除されますのでご注意ください。

撮影したデータを再生中の場合は、削除をする事ができません。再生を停止した後、ゴミ箱に入れてください。

● 撮影したデータをコピーする

撮影したデータをパソコンにコピーする場合は、下記のように保存したい場所へ(この例ではドキュメント)ドラッグしてコピーをしてください。



● 本体をパソコンから取り外す

本製品をパソコンから取り外す際は、必ずタスクバーに表示されている(画面右下の時間表示の左側に表示されます)「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンをクリックしてください。



メニューの指示に従い、ドライブを選択して取り出しの文字をクリックするか、「USB Device」の取り出しの文字をクリックしてください。

しばらくすると、安全に取り外しができるメッセージが表示されます。その後、パソコンから本製品を取り外してください。

ファイルの書き込み中等に、本製品をいきなりパソコンから取り外すと、本商品の破損、SDカードの破損に繋がりますので、ご注意ください。

